

年末年始・旧正月時期も引き続き、 家畜防疫対策の再徹底をお願いします！

国外の状況

●アフリカ豚熱(ASF)

・韓国釜山の港や空港付近で発生が継続、日本・台湾以外のアジア諸国で発生を確認

●口蹄疫(FMD)

・中国、韓国等の近隣国を含むアジア地域に広く浸潤

➡人や物の動きを介してこれら疾病が侵入するリスクは高い状況！

国内の状況

●豚熱(CSF)

・飼養豚では令和6年11月に愛媛県で94例目が発生

・遺伝子陽性事例が県内の捕獲・死亡野生いのししで継続して確認

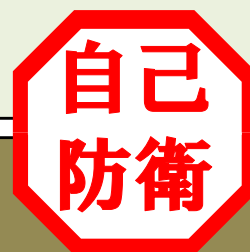
●高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)

・R6シーズンは12月26日現在、11道県15事例で約167万羽を殺処分

・渡り鳥の飛来から北帰行までの期間(ゴールデンウィーク頃まで)、警戒の継続が必要

●ランピースキン病(LSD)

・九州2県で21事例確認されています。未発生地域でも警戒を！



家畜伝染病の防疫対策に万全を期すため、

※不要不急の海外渡航は自粛してください。

※衛生管理区域、畜舎内への病原体の侵入防止を徹底してください。

- ・従業員も含め、衛生管理区域や畜舎に立ち入る場合又は物を持ち込む場合、専用の衣服や手袋・長靴を着用
- ・関係者以外は衛生管理区域や畜舎に立ち入らせないよう看板等を設置
- ・野生動物の侵入防止対策として、防護柵・防鳥ネットの設置と定期的な点検及び必要に応じて修繕を実施する。

毎日の健康観察を入念に行い、特定症状や死亡頭羽数の増加等異状を見つけた場合には速やかに家畜保健衛生所に連絡してください。

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018